

2 平成 29 年度の水質概況

平成 29 年度は、全水系で夏季の降水量が少なく、愛知用水で 6 月末から 7 月上旬まで、矢作川水系で 7 月下旬から 8 月上旬まで節水となった。また、ダムや貯水池での藻類の増殖や降雨による原水臭気の異常等が発生し、活性炭処理が必要となった浄水場があった。

1) 浄水

浄水場浄水池・供給点の全地点について、省令で定める水質基準に適合していた。

2) 工業用水

全地点について、愛知県工業用水道給水規程に定める水質基準に適合していた。

3) 原水及び浄水場原水

(1) 木曾川(木曾川・長良川)水系

入鹿池と佐布里池で春・秋季に黄金藻類 *Uroglena americana* がみられ、生ぐさ臭が確認された。また、入鹿池で夏季から秋季にかけて藍藻類 *Anabaena* sp. や *Phormidium* sp. がみられ、カビ臭が確認された。愛知池で夏季から秋季まで淡水赤潮の原因となる渦鞭藻類 *Peridinium* sp. の増殖がみられた。これらの藻類による浄水処理への影響はなかった。

愛知池及び佐布里池で春季にろ過閉塞の原因となる珪藻類 *Asterionella formosa* の増殖があり、知多浄水場の工業用水で凝集沈澱処理を行った。

(2) 矢作川水系

矢作ダムで春季に *U. americana* が増殖し、生ぐさ臭が確認されたため、豊田浄水場で活性炭処理を行った。羽布ダムで夏季に *Anabaena* spp. の増殖によりアオコが発生し、カビ臭が確認されたため、幸田浄水場で活性炭処理を行った。

7 月と 1 月に実施した豊田浄水場の原虫試験で、原水からクリプトスポリジウムが検出された。なお、浄水場では適切な浄水管理を行っており、浄水からは検出されなかった。

(3) 豊川水系

駒場池で一年を通して断続的に、*U. americana* が増殖し、生ぐさ臭が確認されたため、豊川浄水場で活性炭処理を行った。三ツ口池でも春・冬季に同種が確認されたが、豊橋浄水場原水への影響はなかった。また、駒場池で 9 月に藍藻類 *Oscillatoria* spp. がみられ、カビ臭物質が検出された。三ツ口池でも冬季にカビ臭物質が検出されたが、原因となる生物はみられなかった。これらのカビ臭物質による豊川浄水場及び豊橋浄水場原水への影響

はなかった。

4) 放射性物質検査

全地点で放射性物質は検出されなかった。

